

気のアセリ心のアセリが事故招く 心にゆとりの安全運行

陸災防「平成 29 年度 安全衛生標語」交通部門 入選作品



平成 29 年 9 月 No.578

発行所 陸上貨物運送事業労働災害防止協会
〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 35 番 2 号
安全衛生総合会館内 ☎03-3455-3857 代表
<http://www.rikusai.or.jp>
(印刷物による年間購読料 3,600 円)

みんなで築く安全職場 総力挙げて目標達成 12 次防

陸災防「第 12 次陸上貨物運送事業労働災害防止計画目標達成取組強化期間」(7 月～12 月) スローガン

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| ○ わが社の災防活動 (株)マツカワ物流 …… (1)～(2) | ○ STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン 実施中 …… (7) |
| ○ フォークリフト荷役技能検定のご案内 …… (3) | ○ ロールボックスパレット安全作業研修会のご案内 …… (8) |
| ○ [連載④]「陸災防規程」の変更について …… (4) | ○ 過労死等防止対策セミナーのご案内 …… (9) |
| ○ 小企業無災害記録表彰 …… (4) | ○ 安全管理士の着眼点 …… (10) |
| ○ 全国陸運労災防止大会のご案内(新潟市で開催) (5) | ○ 平成29年度 緑十字賞受賞者の紹介 …… (11) |
| ○ 安全衛生教育講師養成講座を受講して …… (6) | ○ 労働災害発生状況 …… (11) |
| ○ 陸災防計画目標達成取組強化期間を実施中! (7) | |



第 52 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会「優良賞」受賞事業場

交通事故・労災事故・クレーム 000 (ゼロ・ゼロ・ゼロ) を目指して 株式会社 マツカワ物流 (熊本県支部)

はじめに

平成 28 年 11 月に開催された、『第 52 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会』の安全衛生表彰において、「優良賞」という荣誉ある賞をいただきまして、誠にありがとうございました。

これもひとえに、陸上貨物運送事業労働災害防止協会熊本県支部、熊本県トラック協会様・並びに関係各社様のご支援・ご指導のおかげと深く感謝申し上げます。

弊社は、昭和 37 年に創業して昭和 48 年に会社を設立し、現地(熊本県玉名郡和水町)に平成元年 4 月に本社移転し、今に至っています。

弊社は菊水インターから 5 分の所に本社があり、現在、車輛 60 台で敷地は約 20,000 坪有り、保管倉庫が 3 棟あります。4t 車から増トンウイング・トレーラ等で、主に、九州管内の配送をさせていただいています(写真 1)。

1 安全衛生の取組

年頭の仕事始めには、我が社の荷主様と一緒に神社に毎年参拝に行き、一年の仕事の繁栄と交通事故祈願を行っています。

毎月一回、主なお客様と会議をして、安全作業・ヒヤリハット等の連絡・確認をしています。



写真 1 マツカワ物流の車輛

(株)マツカワ物流 スローガン

- ①安全輸送の確立
(交通事故・労災事故・クレーム 000 運動)
- ②お客様に信頼され選ばれる会社作り
(敬客愛品の精神)
- ③事故の撲滅

夕会時に毎日、以上のスローガン呼称と指差呼称、及び 5S 運動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を社員全員で連呼しています(写真 2)。



写真2 安全目標（点呼室）

2 小グループ安全会議の取組

社員を、5～6名の小集団に分けて、リーダーを中心に毎月1回、ミーティングを実施しております（写真3）。

議題については、その月のヒヤリハットや身近で発生した事故について実施し、原因を追及し再度同じ失敗をしない様に周知徹底しています。



写真3 安全会議

3 外部講師を迎えての勉強会

年に数回、担当の保険会社の講師を招いて交通安全講習会等の勉強会をしています。

また、自動車メーカーを招いて、運行前点検の確認をしています。

4 健康管理について（協会けんぽヘルスター認定2015）

年度初めには、必ず社会保険健診を受けてもらい、再検査の場合は必ず受診してもらっています。2月には、二回目の健診を行います。

月に一回は、産業医を迎えて指導を受けています。ストレスチェックも全員実施しました。

また、平成27年12月14日に全国健康保険協会熊本支部から、『協会けんぽヘルスター認定2015』星2つをいただきました。ヘルスター選定とは、健康で元気の良い事業所が認定される制度です。ドライバーの様に肉体労働が多い事業所には、珍しいそうです。

社員の皆さんが元気に働いてくれることに感謝したいと思います。

結びに

弊社は、職場は第2の家庭と考えています。一年間の行事として社内旅行・ペーロン大会（ボートレース）・忘年会を開催しています。

年末の忘年会には「無事故賞・期待賞・社長賞・専務賞」を設けて金一封と賞状を授与しています（写真4）。一年間最後の日には、社員の皆さんとぜんざいを食べて、一年間の反省と来年、期待することを話しています。



写真4 無事故賞等の表彰

大きな事故になる前に、常に社員とのコミュニケーションを大切にして、ヒヤリハットの芽をつぶしていきたいと思っています。

会社の繁栄と存続ができるのは、ひとえに荷主様と社員の皆様のおかげであると心から深く感謝いたしております。

この度の受賞を機に我が社のスローガンの一つである「交通事故・労災事故・クレーム000」を全員で目指して、荷主様・地域社会にもっと貢献できる会社作りをして行きたいと思っています。

この様な、栄えある賞をいただきました、各関係会社の方々に心より感謝申し上げますと共に、これからも、物流業界が益々発展します様に心から祈念いたします。

誠にありがとうございました。

【受検申請受付中】平成 29 年 10 月 18 日実施**フォークリフト荷役技能検定のご案内**

陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）では、平成 29 年 10 月 18 日(水)、フォークリフト荷役技能検定試験を実施します。

この技能検定は、フォークリフト運転技能講習修了者等を対象に、より安全で正確かつ迅速な作業を評価・認定し、労働災害の防止に寄与することを目的とした制度です。

多数のフォークリフト運転者の皆さまのご参加をお待ちしています。

技能の程度について

- 1 級 フォークリフト運転技能講習修了後 5 年程度のフォークリフトによる荷役作業の実務経験を有する上級のフォークリフト運転者
- 2 級 フォークリフト運転技能講習修了後 3 年程度のフォークリフトによる荷役作業の実務経験を有する中級のフォークリフト運転者

**受検資格**

- 1 級 フォークリフト荷役技能検定 2 級合格後 2 年以上の実務経験を有する者等（注 1）
（注 1）平成 27 年度実施のフォークリフト荷役技能検定 2 級試験合格者及びフォークリフト認定 1 級制度実技試験合格者が対象となります。
フォークリフト認定 1 級制度実技試験合格者は、学科試験のみ受検できます。
- 2 級 フォークリフト運転技能講習修了後 2 年以上の実務経験を有する者（注 2）
（注 2）平成 27 年度及び 28 年度実施のフォークリフト荷役技能検定 2 級試験一部合格者は、不合格となっている科目（学科又は実技）を受検できます。

検定日

検定日 平成 29 年 10 月 18 日（水）

受検申請期間

平成 29 年 8 月 1 日(火)～10 月 11 日（水） 締切日消印有効

受検会場

- 1 級※：北海道、岩手、宮城、秋田、福島、埼玉、千葉、東京、長野、静岡、愛知、愛媛、福岡
※…埼玉、愛知、愛媛会場では学科・実技を実施。その他の会場は学科のみ。
- 2 級：北海道、岩手、宮城、秋田、福島、埼玉、千葉、長野、静岡、愛知、愛媛、福岡

**受検費用**

- 1 級 ・学科試験受験手数料 5,400 円（税込）
・実技試験受験手数料 27,000 円（税込） 合計 32,400 円
- 2 級 ・学科試験受験手数料 5,400 円（税込）
・実技試験受験手数料 21,600 円（税込） 合計 27,000 円

※お申し込み後のキャンセル料等については、当該検定の規定によります。

検定についての詳細・お問い合わせ先

検定についての詳細

- 1 級 <http://www.rikusai.or.jp/public/ginou-kentei/h29/index1.htm>
2 級 <http://www.rikusai.or.jp/public/ginou-kentei/h29/index3.htm>

お問い合わせ先

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 技術管理部

TEL 03-3455-3857 FAX 03-3453-7561

MAIL ginou-kentei@rikusai.or.jp

【連載⑧】

「陸上貨物運送事業労働災害防止規程」の変更について

今回は、陸上貨物運送事業労働災害防止規程の変更内容のうち、「陸運業における荷役作業の安全対策ガイドライン（荷役ガイドライン）」及び「改正労働安全衛生法」に関することについて詳しく説明します。

1 荷役ガイドラインに関すること

- (1) 安全衛生教育に、荷役ガイドラインにより指名することとされている「荷役災害防止担当者」に対する教育及び荷役ガイドラインにより実施することとされている「荷役作業従事者」に対する教育を追加しました(第 11 条第 1 項 6 号)。
- (2) 荷役作業の安全に、荷役ガイドラインで示された「安全作業連絡書」により、荷役作業の有無及びその内容の確認を行うことを追加しました(第 23 条第 2 項)。
- (3) 貨物自動車等の積卸し作業における墜落・転落災害を防止するために必要な措置として、
 - ア 不安定な荷の上ではできる限り移動しないこと
 - イ 荷締め、ラッピング、ラベル貼り等の作業は、荷や荷台の上で行わず、できる限り地上から又は地上での作業とすること
 などを追加しました(第 47 条の 2)。
- (4) 貨物自動車等の積卸し作業における転倒災害を防止するために必要な措置として、
 - ア 後ずさりでの作業はできる限りしないこと
 - イ 荷役作業場所等に合わせて、耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用させること
 などを追加しました(第 47 条の 3)。

2 改正労働安全衛生法に関すること

- (1) 衛生管理者の職務事項にストレスチェックを追加するとともに、関係する具体

的な衛生に関する職務事項を次のとおり、整理しました(第 5 条第 5 項)。

健康診断、ストレスチェック、健康教育、健康相談、衛生教育その他従業員の健康保持に必要な事項

- (2) 産業医の職務事項にストレスチェックを追加しました(第 6 条第 2 項)。
- (3) ストレスチェックの実施及びその結果に基づく措置を追加しました(第 82 条の 3)。

具体的な内容は、次のとおりです。

ア 常時 50 人以上の労働者を使用する会員は、常時使用する労働者に対して、法令の定めるところにより、1 年以内ごとに 1 回、定期的に、医師等によるストレスチェックを行わなければなりません。

イ ストレスチェックの結果、一定の要件に該当する労働者から申出があった場合、医師による面接指導を実施しなければならない。また、申出を理由として不利益な取扱いを行ってはなりません。

ウ 面接指導の結果に基づき、医師の意見を聞き、必要に応じ就業上の措置を講じなければなりません。

エ 常時使用する労働者が 50 人未満の会員についても、ストレスチェックの実施及びその結果に基づく措置を行うように努めなければなりません。

- (4) 受動喫煙の防止を追加しました(第 78 条の 2)。

会員は、従業員の受動喫煙を防止するため事業場の実情に応じた適切な措置を講ずるものとします。

陸運労災防止協会の表彰制度による小企業無災害記録事業場〔平成29年7月〕

第5種(15年間)	・株式会社丸勝渡邊運輸本社営業所	長野県支部	第3種(7年間)	・有限会社森宮運輸本社営業所	長野県支部
第4種(10年間)	・有限会社東和総建運輸	福島県支部	第2種(5年間)	・有限会社丸信システム流通本社営業所	長野県支部
	・北安陸送株式会社生坂営業所	長野県支部		・有限会社東部急送	福島県支部
	・大谷総業運輸倉庫株式会社松本第2営業所	長野県支部		・ビジネスサポート株式会社	福島県支部
第3種(7年間)	・株式会社籠島運輸倉庫	福島県支部	第1種(3年間)	・長野陸送株式会社長野東営業所	長野県支部
	・株式会社パワード・エル・コム長野営業所	長野県支部		・有限会社 山太運輸本社営業所	長野県支部
	・みゆき野運輸株式会社本社営業所	長野県支部		・高島運輸株式会社本社営業所	長野県支部

第 53 回全国陸運労災防止大会のご案内

～平成 29 年 11 月 6 日 新潟県新潟市で開催～

会員事業場が一堂に会し、①労働災害防止の意識の高揚を図り、その決意を新たにするとともに、②労働災害防止の取組について学ぶために、毎年、全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催しています。

第 53 回大会は、新潟県新潟市の「りゅーとぴあ（新潟市民芸術文化会館）」にて開催いたします。

特別講演には、生椿の自然を守る会会長高野毅氏をお迎えし、特別天然記念物トキについてご講演いただきます。

大会への参加お申し込みは各都道府県支部へお願い申し上げます。

第 53 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会
平成 29 年 11 月 6 日(月) 13:30～17:00
会場 りゅーとぴあ 2 階 劇場（新潟県新潟市）

第 53 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会 プログラム

- 第Ⅰ部 大会式典（13:30～14:40）
第Ⅱ部 講演（14:50～15:10） 厚生労働省労働基準局
第Ⅲ部 事例発表（15:20～15:45）
『『フォークリフト荷役技能検定』取得で災害撲滅への取組』
秋田海陸運送株式会社
営業部 現業課 職長 中田 孝
第Ⅳ部 特別講演（15:50～17:00）
「人とトキのかけはしになる」
生椿（はえつばき）の自然を守る会
会長 高野 毅 氏

特別講演 「人とトキのかけはしになる」

生椿の自然を守る会 会長 高野 毅 氏



写真提供
一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団

プロフィール

1943 年佐渡島生まれ。

精力的にトキの保護活動を行っていた父・高治の背中を見ながら育つ。

トキとともにあったかつての佐渡島の自然を取り戻そうと生椿の自然を守る会の会長を務める。

トキのために棚田を餌場として開放し、トキとの共生を目指しながら、佐渡島にて子どもたちにビオトープ作りなど実践的な環境教育に尽力している。

安全衛生教育講師（インストラクター）養成講座を受講して

健康と安全に勝る利益なし

株式会社 長岡運送 品質管理課 安藤 孝志

受講の動機

弊社は、群馬県伊勢崎市に在り、自動車部品の輸送部門・食品の輸送部門により、お客様各社のニーズに応え、「お客様の予想を上回るサービスを提供する」「健康と安全に勝る利益なし」という安全を優先に考えた会社の方針のもと、様々な輸送の品質向上に努めております。

弊社では、公共の道路を利用させていただき事業を行っていることから、ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）を取得し、新人ドライバーからベテランドライバーまで、経験・技量に合わせた安全教育に力を入れております。

また、自動車部品輸送では、フォークリフトを使用した作業であるため、社内独自の教育を実施しているところであります。

フォークリフトの作業では、商品破損等の事故は発生していますが、幸いにしてフォークリフト作業による怪我の労災事故は発生していません。ですが、交通事故と同様にフォークリフトによる事故についてもいつ発生するか分かりません。したがって、交通事故防止と並行し、フォークリフト労災事故の発生ゼロを目指し、重大な災害につながる前に、フォークリフト安全作業を理解してもらえらるための指導スキルの習得と、充実した安全教育を図り、実施できるよう、本講座を受講させていただきました。

養成講座を受講して

本講座は、7 月 18 日から 21 日の間実施されましたが、朝のラジオ体操から始まるという生活を送るのは、4 日間ではありましたが私にとって久しぶりの規則正しい生活となりました。

また、日本全国から多様な業種の方々が参加されていることに驚くとともに、受講者皆さんの安全意識の高さを感じました。

受講前に私が特に興味を持っていた講義は、第 2 日目の「教育指導の方法」「指導案の目的・意義及び指導案の作成」でした。

どのような方法でどのように進めていくのかという考え方や手法など興味を引くものであり、教育計画の策定、計画策定手順、基本原則の大



切さを改めて実感しました。

なぜこの教育が必要なのか、必要とする教育は何で、どんな教育をやるのか、そして目標（到達点）はどこなのか。それを明確にしないと的外れの教育になってしまい意味のないものになってしまうこと。

指導案・教材の策定、何をどのように教えようとするのかシナリオが大切であり、教育内容、急所を忘れることなく話すことができるということ。

さらにプレゼンテーションの技術、教え方の 8 原則など大変勉強になりました。

そして、指導案・教材の策定は資料を多く集めることも大切であるということ、また現場を知ることにより教育ニーズが明確になるということも感じました。

役割演技では、持ち時間の 10 分は長いようで短時間に感じ、時間内でどうまとめるのかの大変さ（シナリオの大切さ）を身をもって感じました。受講者の皆さんそれぞれ上手くできており、同じ課題のプレゼンをするにも切り口が違うなど勉強になることが多く、また、自分のプレゼンを評価していただけることも良かったと思います。

まとめ

この講座の受講は、私にとって大変有意義なものでした。

教育指導の方法、リスクアセスメントの考え方も大変分かりやすく勉強になり、あとは私が講座で学んだことをいかに活かせることができ、事故防止に貢献できるかです。

最後に、各科目の講師の先生方、大変有意義な講義ありがとうございました。

この講座で学んだ事を活かし、さらに輸送の品質向上に努めたいと思います。

7 月から「第 12 次陸上貨物運送事業労働災害防止計画 目標達成取組強化期間」を実施中です！

陸災防では、7 月 1 日から 12 月 31 日まで「第 12 次陸上貨物運送事業労働災害防止計画目標達成取組強化期間」を実施し、災防指導員の巡回指導をはじめとして様々な取組を実施中です。

各企業・事業場におかれましては、労働安全衛生関係法令を遵守することはもとより、職場の安全衛生管理体制を確立して適切に機能させるとともに、経営者と従業員が一致協力して自主的な安全衛生活動を継続的・効果的に展開いただきますようお願いいたします。

実施要綱➡http://www.rikusai.or.jp/public/katsudo/kyouchou/H29_12th/H29_12th.htm

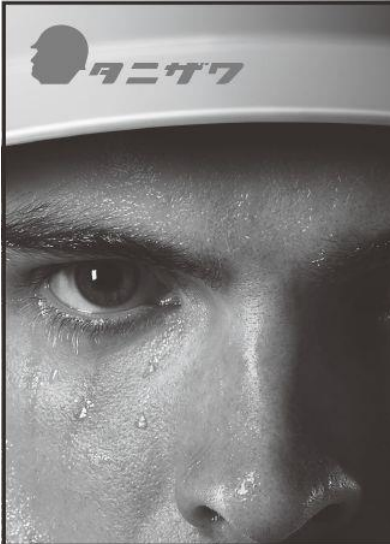
STOP！熱中症 クールワークキャンペーン 実施中

厚生労働省は、熱中症予防対策の徹底を図ることを目的として、関係省庁及び陸災防を含む関係団体との連携の下、「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を実施しております。

本キャンペーンは、これまで各団体において個々に実施されていた取組について相互に連携を図り、一体的に推進することにより、事業場における熱中症防止に対する意識の向上及び責任体制の確立を含む対策の徹底を図ることを目的としています（取組期間：平成 29 年 5 月 1 日から 9 月 30 日）。

詳細につきましては、下記①陸災防作成のリーフレット、②厚生労働省ホームページ、③厚生労働省作成のリーフレットをご覧ください。

- ① <http://www.rikusai.or.jp/public/leaflet/netyuusyou2017.pdf>
- ② <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133.html>
- ③ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyouku/shosai.pdf>



ヘルメットは 蒸れるもの その常識を タニザワが 変える

「暑い」、「ムれる」....

お客さまから常にいただいていた声にお応えするため、タニザワは産業用ヘルメットから発泡スチロール製の衝撃吸収ライナーを外すことに成功しました。

タニザワ独自の技術で開発した内装「エアライト」は安全性を確保しつつ、ヘルメット内部の空間に広がりをもたらし、通気性を格段に向上させます。

ヘルメットの概念が変わります。



※撮影用に透明の帽体を使用しています。



エアライト

商品についてのお問い合わせは TEL.03(3552)5581 <http://www.tanizawa.co.jp> 〒104-0041 東京都中央区新富2-8-1 キンシビル
株式会社 谷沢製作所

ロールボックスパレット安全作業研修会のご案内

とても便利なロールボックスパレット（カゴ車）ですが、下敷きや手足の負傷による事故が多く発生しています。

- ◎ ロールボックスパレットの安全作業に関するセミナーを、47 都道府県にて開催します（参加費：無料）。
- ◎ セミナーでは、安全な使用方法について

お示しするとともに、保護具の紹介もいたします。

- ◎ ロールボックスパレットを使用する事業所の方々のご参加をお待ちしています。

ロールボックスパレット安全作業研修会

開催日：下表参照

場 所：47 都道府県（会場は支部へご確認ください）

定 員：約 50 名（先着順）

参加費：無料

内 容：① ロールボックスパレットとは
② ロールボックスパレット起因による労働災害の実態と特徴
③ ロールボックスパレットによる災害事例
④ ロールボックスパレットの安全作業のポイント

講 師：陸災防本部 安全管理士

申込方法：支部へご連絡ください。

修了証：研修の参加者には、本研修を修了したことを証する書面をお渡しします。



「ロールボックスパレット安全作業研修会」開催日程

都道府県	開催日	都道府県	開催日	都道府県	開催日	都道府県	開催日
北海道（札幌）	9月12日(火)	神奈川	10月10日(火)	三重	12月5日(火)	香川	11月13日(月)
北海道（旭川）	12月5日(火)	新潟	2月2日(金)	滋賀	11月13日(月)	福岡	11月29日(水)
岩手	10月12日(木)	富山	10月26日(木)	大阪	9月27日(水)	佐賀	10月26日(木)
宮城	1月17日(水)	福井	10月7日(土)	鳥取	10月10日(火)	長崎	10月31日(火)
秋田	11月14日(火)	長野	10月5日(木)	島根	10月11日(水)	大分	11月28日(火)
山形	11月24日(金)	岐阜	10月5日(木)	岡山	11月14日(火)	宮崎	11月21日(火)
福島	1月25日(木)	静岡	11月28日(火)	広島	10月5日(木)	鹿児島	11月22日(水)
茨城	12月15日(金)	愛知	12月12日(火)	山口	11月9日(木)	沖縄	10月25日(水)
千葉	12月1日(金)	開催終了 都道府県	群馬・徳島・愛媛	記載のない都道府県につきましては開催日未定です。決定次第お知らせいたします。			

過労死等防止・健康起因事故防止対策セミナー 開催のご案内

脳・心臓疾患の労災補償状況は、業種別に見ると、請求件数、支給決定件数ともに「運輸・郵便業」が最多であり、その中でも道路貨物運送業（業種別中分類）が最も多い状況にあります。また、事業用トラックによる交通事故は減少傾向にありますが、ドライバーの健康に起因する事故は増加傾向にあり、更なる労災防止対策として、過労死等防止・健康起因事故防止対策の推進が急務となっており、47都道府県にて「過労死等防止・健康起因事故防止対策セミナー」が実施されることとなりました。

本セミナーは、過労死等防止対策ならびに健康起因事故防止対策の具体的な取り組みについて、過労死事案の具体例などを踏まえながら専門家よりアドバイスをを行います。是非多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

受講お申込みにつきましては、各都道府県トラック協会へご連絡ください。

主催 （公社）全日本トラック協会・各都道府県トラック協会
（独）労働者健康安全機構 産業保健総合支援センター
陸上貨物運送事業労働災害防止協会

平成29年度「過労死等防止・健康起因事故防止セミナー」開催日程

都道府県	開催日	会場	都道府県	開催日	会場
北海道	11月1日（水）	北海道トラック総合研修センター	兵庫	10月13日（金）	兵庫県トラック総合会館
宮城	11月2日（木）	宮城県トラック協会	奈良	10月26日（木）	奈良県トラック会館
山形	9月22日（金）	山形国際交流プラザ（山形ビックウイング）	和歌山	11月16日（木）	和歌山市「ルミエール華月殿」
福島	12月13日（水）	県中研修センター	鳥取	9月20日（水）	鳥取県トラック協会
茨城	10月6日（金）	茨城県トラック総合会館	島根	9月21日（木）	松江市「くにびきメッセ」
栃木	10月13日（金）	栃木県トラック協会	岡山	10月4日（水）	岡山県トラック総合研修会館
群馬	10月24日（火）	群馬県トラック総合会館	広島	9月13日（水）	広島県トラック総合会館
東京	11月14日（火）	東京都トラック総合会館	山口	2月16日（金）	山口県トラック協会研修会館
神奈川	2月16日（金）	神奈川県トラック総合会館	徳島	1月30日（火）	徳島県トラック会館
新潟	1月29日（月）	新潟県トラック総合会館	香川	12月7日（木）	高松市「ホテルパールガーデン」
石川	9月15日（金）	石川県トラック会館	愛媛	10月12日（木）	愛媛県トラック総合サービスセンター
福井	1月26日（金）	福井県トラック総合研修会館	高知	9月22日（金）	高知市「サンピアセリーズ」
長野	1月17日（水）	長野県トラック会館	福岡	10月13日（金）	福岡県トラック総合会館
岐阜	2月5日（月）	羽島市「不二羽島文化センター」	佐賀	9月20日（水）	佐賀県トラック協会研修会館
愛知	9月6日（水）	愛知県トラック会館	熊本	9月6日（水）	熊本県トラック協会 旧館
滋賀	9月14日（木）	滋賀県トラック総合会館	宮崎	10月23日（月）	宮崎県トラック協会総合研修会館
大阪	9月4日（月）	大阪府トラック総合会館	鹿児島	10月26日（木）	鹿児島県トラック研修センター
開催終了都道府県		岩手・富山・静岡・三重・長崎・大分・沖縄			

※記載のない都道府県につきましては開催日未定です。決定次第お知らせいたします。

安全管理士 の着眼点

GPSで労働災害防止への期待！

安全管理士 遠藤 聡

【「みちびき 3 号機」打ち上げ成功】

つい先日、H-IIA ロケット 35 号機によって「みちびき 3 号機」が打ち上げられました。天空に向けて発射されるロケットは、宇宙へのロマンをかき立ててくれます。

今回は、「みちびき」の役割と効果について紹介します。

【「みちびき」とは】

「みちびき」とは「準天頂衛星システム」（日本版 GPS とも呼ばれる）のことで、これにより、これまでの GPS の精度が飛躍的に向上します。

さらに、精度が向上するだけでなく、災害の防止を含め、いろいろなサービスが提案されているのです。

【GPS について】

そもそも GPS（グローバル・ポジショニング・システム）とは、米国によって運用される衛星測位システムであり、30 機ほどの GPS 衛星のうち 4 つの衛星からの電波を受信することで受信機の 3 次元空間上の位置の特定が可能になるものです。

【GPS の原理】

GPS 衛星からの信号には、正確な時刻と軌道の情報が含まれています。つまり、自分のいる位置と時刻を実況しながら飛んでいるということになります。

一方、受信機は、信号が発信された時刻と受信した時刻の差から、その衛星と自分との距離を割り出します。

受信機は、違った場所を飛んでいる複数の衛星と自分の距離を計算して、自分の位置を特定しているのです。

衛星が受信機に対して「あなたは今どこここにいますよ！」と言っているのではなく、それぞれの衛星は「私は今ここにいますよ！」と言っているだけなのです。

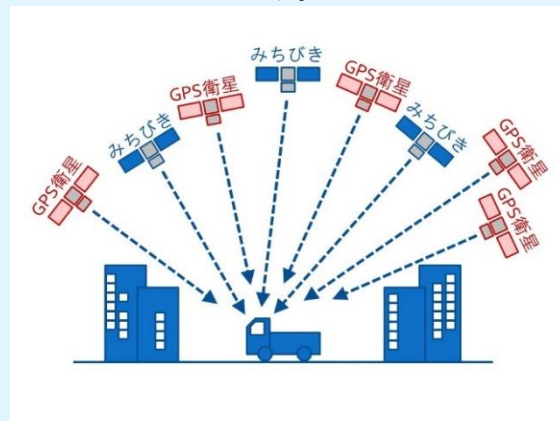
【精度の向上】

「みちびき」は、既に打ち上げられた 3 機の衛星に加え、今年度中にはさらにもう 1 機打ち上げて 4 機体制になります（2023 年をめどに 7 機体制を目指しています。）。

そうすることによって、日本を含むアジア・オセアニア地域では、GPS 衛星と合わせて常時合計 8 機の衛星からの信号を受信できることにな

り、より安定した高精度測位を行うことが可能になります。

現状 10 メートル前後とされる誤差が数センチになるといわれています。



「みちびき」のイメージ

【「みちびき」の軌道】

「みちびき」の軌道は「準天頂軌道」と呼ばれ、地上から見ると非対称の 8 の字を描いています。衛星を日本の真上に静止させる軌道は取れません。日本の上空に長く滞空させるためにこの軌道を選びましたが、これで、アジア・オセアニア地域にも利用価値が出てきます。

【労働災害防止への応用】

私たちは GPS から、今やなくてはならないカーナビやスマホなど、計り知れない恩恵を受けています。また、労働災害防止への活用としてデジタコ、ドラレコ等への応用がされる中で、厚生労働省、陸災防としても「IT を活用したリアルタイム遠隔安全衛生管理手法」として紹介してきました。

「みちびき」は地震や津波をはじめとする災害・危機管理通報サービスや災害時の避難誘導などへの応用を進めており、スマホなどの受信端末を持っていない人への対応なども検討しています。

例えば、「みちびき」からの情報を用いてフォークリフトの位置情報だけでなく、持ち上げた荷物の高さ、作業者の正確な位置などを管理していくことも、そう難しくない技術なのかと思います。思いつくことは数々ありますが、様々な安全管理が、この「みちびき」によって、飛躍的に向上することは間違いのないことだろうと確信します。

平成 29 年度 緑十字賞を受賞

中央労働災害防止協会は、長年にわたり我が国の産業安全又は労働衛生の推進向上に尽くし、顕著な功績が認められた方々に贈る「緑十字賞」の平成 29 年度受賞者を決定しました。

受賞の表彰式は、来る 11 月 8 日(水)に兵庫県神戸市で開催される全国産業安全衛生大会総合集会において行われます。

当協会関係者では、次の方々が受賞されます。心からお祝い申し上げます。（敬称略）



産業安全
よしのまさたか
吉野雅山

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 副会長及び愛知県支部長



産業安全
いわしたかつみ
岩下勝美

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 長野県支部長

業種別労働災害発生状況

平成 29 年 8 月 7 日現在

業種	項目	死亡						死傷					
		平成29年1月～7月 [速報値]		平成28年1月～7月 [速報値]		前年比較		平成29年1月～7月 [速報値]		平成28年1月～7月 [速報値]		前年比較	
		死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全 産 業		447	100.0	448	100.0	-1	-0.2	56,322	100	55,769	100	553	1.0
製 造 業		91	20.4	97	21.7	-6	-6.2	12,850	23	12,894	23	-44	-0.3
鉱 業		9	2.0	4	0.9	5	125.0	109	0	110	0	-1	-0.9
建 設 業		150	33.6	136	30.4	14	10.3	7,225	13	7,233	13	-8	-0.1
交通運輸業		7	1.6	7	1.6	0	0.0	1,543	3	1,658	3	-115	-6.9
陸上貨物運送事業		54	12.1	47	10.5	7	14.9	7,111	13	6,843	12	268	3.9
港湾荷役業		4	0.9	6	1.3	-2	-33.3	178	0	140	0	38	27.1
林 業		22	4.9	18	4.0	4	22.2	668	1	821	2	-153	-18.6
農業、畜産・水産業		19	4.3	18	4.0	1	5.6	1,230	2	1,237	2	-7	-0.6
第三次産業		91	20.4	115	25.7	-24	-20.9	25,408	45	24,833	45	575	2.3

資料出所：厚生労働省

業種、事故の型別死亡災害発生状況（平成 29 年 1 月～7 月）

平成 29 年 8 月 7 日現在

業種	項目	合計	墜落・転落	転倒	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	交通事故（道路）	交通事故（その他）	その他
全 産 業		447	125	9	23	29	44	77	85	2	53
製 造 業		91	13	1	5	5	9	31	6	0	21
建 設 業		150	64	2	12	15	10	15	18	0	14
交通運輸業		7	0	0	1	1	0	0	4	0	1
そ の 他		145	39	5	3	5	21	24	30	2	16
陸上貨物運送事業		54	9	1	2	3	4	7	27	0	1
同上対前年増減		7	8	0	-2	0	2	-1	1	0	-1

業種、事故の型別死傷災害発生状況（平成 29 年 1 月～7 月）

平成 29 年 8 月 7 日現在

業種	項目	合計	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動・無理な動作	その他
陸上貨物運送事業		7,111	2,055	1,116	550	384	215	387	789	432	5	1,028	150
同上対前年増減		268	57	35	24	28	33	23	15	1	1	71	-20

（注）上記 2 表の右端の列の「その他」は、「墜落・転落」～「交通事故（その他）」以外をまとめたもの
詳細は、陸災防ホームページ <http://www.rikusai.or.jp> に掲載